

令和3年度第1回富士市市民協働推進審議会会議録(概要)

1. 日 時 令和4年7月12日(火) 午後2時～午後4時
2. 場 所 消防防災庁舎3階第研修室
3. 出席者 委員(敬称略)
飯倉清太、今屋敷正成、鈴木俊光、佐野智恵子、高木敦子、長岡路子、
中山勝、渡辺美恵子、遠藤卯美、大村教人、加藤直子
富士市
市民協働課長他職員3名

4. 概要

■ 事務局説明・委員意見・質疑

<市民活動との協働に関する基本指針(第三版)の活用方法について>

- 指針の活用方法を議論していくにあたり、ゼロベースで議論する前に、まず事務局で方針について案を提示し、説明を聞いてから議論を開始する。
→事務局より、市民活動との協働に関する基本指針(第三版)に基づく市民活動の活性化、協働推進に向けたコンセプトや方向性について説明。
- 「知る」「つながる」「育む」の方向性について、わかりやすくなっていると思う。このキーワードをどこかの場を想定して実体験することで、これだけのものができたという成果を出すという事が必要なのではないかと思う。
- わかりやすいと思う一方で、一つ一つ詰めていくと課題があると感じる。市民活動を知らせる事について、市から情報提供を行い、また市民活動団体にも取材を呼びかける方法を知ってもらい、発信していくべき。
- スキルを持った人をウェブサイトで紹介する人材バンクがあるように、出来ないところを他の人が協力したり相談を聞いたりするといった仕組みを作るというのも一つの手段。
→各委員の意見を取りまとめ、次回の審議会でさらに議論していく。